

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-159239

(43)Date of publication of application : 04.06.2002

(51)Int.Cl.

A01K 29/00
 A01K 1/03
 A01K 1/035
 B60P 3/04
 // B65D 6/18

(21)Application number : 2000-361710

(71)Applicant : IRIS OHYAMA INC

(22)Date of filing : 28.11.2000

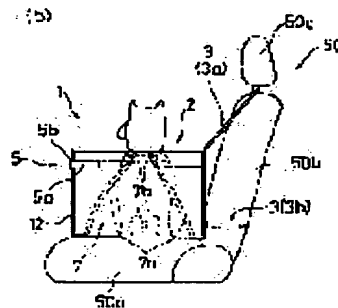
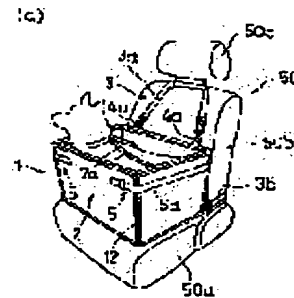
(72)Inventor : HATAKE JUNKO

(54) ON-BOARD CASE FOR PET

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an on-board case for a pet capable of readily achieving the prevention of fouling in the interior of a car and preventing a risk on the driving of the vehicle or the pet itself.

SOLUTION: This on-board case 1 for the pet comprises a box body 2 capable of being developed and assembled for housing the pet, a detachable member 12 for mutually fixing the bottom and lateral faces of the box body 2, a fixing auxiliary member 5 for checking the release of fixing with the detachable member 12, a mooring member 7 for mooring the pet in the box body 2 and a fixing member 3 for fixing the housing body 2 on a seat 50. The mooring member 7 is provided with plural fixing rings 7d, beltlike members 7a, connecting members 7b and connecting members 7c. The beltlike members 7a are set at a smaller length than that of diagonal lines of the base 2a. When the pet is moored from the back side with the two mooring members 7, the pet can be prevented from jumping out to the outside. When a first belt member 3a and a second belt member 3b of the fixing member 3 are stretched over the seat 50, the housing body 2 can be brought into close contact and fixed on the seat 50.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office



(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開 2002-159239

(P 2002-159239A)

(43) 公開日 平成14年6月4日(2002. 6. 4)

(51) Int. Cl. 7	識別記号	F I	テーマコード(参考)
A 0 1 K	29/00	A 0 1 K	29/00
	1/03		1/03
	1/035		1/035
B 6 0 P	3/04	B 6 0 P	3/04
// B 6 5 D	6/18	B 6 5 D	6/18
審査請求 未請求 請求項の数 2 0		O L	
		(全 1 3 頁)	

(21) 出願番号 特願2000-361710(P2000-361710)

(22) 出願日 平成12年11月28日(2000. 11. 28)

(71) 出願人 391001457

アイリスオーヤマ株式会社

宮城県仙台市青葉区五橋二丁目12番1号

(72) 発明者 畠 純子

宮城県仙台市青葉区五橋二丁目12番1号

アイリスオーヤマ株式会社内

(74) 代理人 100081318

弁理士 羽切 正治

F ターム(参考) 2B101 AA13 AA20 GA01 GA03

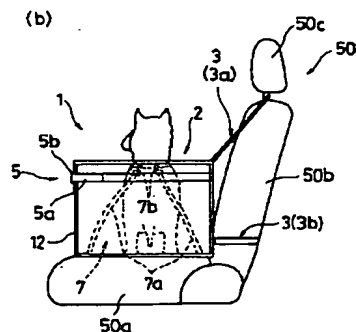
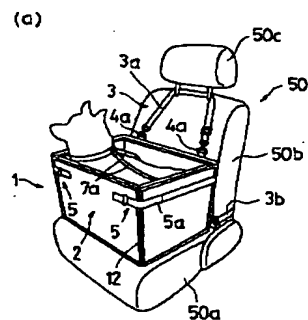
3E061 AA30 CA09 DA06 DB20

(54) 【発明の名称】 ペット用車載ケース

(57) 【要約】

【課題】 車内の汚損防止を容易に達成可能であり、車両の運転やペット自体に対する危険を防止可能なペット用車載ケースを提供すること。

【解決手段】 ペット用車載ケース 1 は、展開、組立可能であってペットを収容する箱体 2、箱体 2 の底面及び側面同士を互いに固定する着脱部材 1 2、着脱部材 1 2 による固定が解除されることを抑止する固定補助部材 5、ペットを箱体 2 内に係留する係留部材 7、箱体 2 を座席 5 0 上に固定する固定部材 3 を有する。係留部材 7 は、複数の固定リング 7 d、帯状部材 7 a、連結部材 7 b 及び連結部材 7 c を有する。帯状部材 7 a を底面 2 a の対角線の長さより小に設定し、ペットを 2 つの係留部材 7 により背後側から係留すれば、ペットの外部への飛び出しを防止可能である。また、固定部材 3 の第 1 のベルト部材 3 a 及び第 2 のベルト部材 3 b を座席 5 0 に掛け回せば、箱体 2 を座席 5 0 上に密着固定することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも底面及び側面を有し展開、組立可能であってペットを収容する箱体と、前記箱体を車両の座席上に固定する固定部材とを有することを特徴とするペット用車載ケース。

【請求項 2】 前記箱体は、前記底面及び前記側面同士を互いに固定する着脱部材を有することを特徴とする請求項 1 記載のペット用車載ケース。

【請求項 3】 前記着脱部材による前記底面及び前記側面同士の固定が解除されることを抑止する固定補助部材を有することを特徴とする請求項 2 記載のペット用車載ケース。

【請求項 4】 前記ペットを前記箱体内に係留する係留部材を有することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のうちいずれか 1 記載のペット用車載ケース。

【請求項 5】 前記箱体は、前記底面及び前記側面にそれぞれ設けられた基材と、前記基材を被覆する被覆部材とを有することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のうちいずれか 1 記載のペット用車載ケース。

【請求項 6】 前記箱体は、前記基材と前記被覆部材との間に設けられて衝撃を吸収する弾性材を有することを特徴とする請求項 5 記載のペット用車載ケース。

【請求項 7】 前記箱体の内側に位置する前記弾性材の肉厚は、外側に位置する前記弾性材の肉厚より大であることを特徴とする請求項 6 記載のペット用車載ケース。

【請求項 8】 前記固定補助部材は、前記箱体の上部に設けられ、第 1 の側面上に固定された固定ベルトと、第 2 の側面上に固定されて前記固定ベルトを挿通するリングとを有し、前記リングに挿通した前記固定ベルトの端部を前記第 1 の側面に向けて折り返して固定することを特徴とする請求項 3 記載のペット用車載ケース。

【請求項 9】 前記係留部材は、前記箱体の内側に固定される帯状部材と、前記帯状部材の先端に設けられて前記ペットに対して連結される第 1 の連結部材とを有することを特徴とする請求項 4 記載のペット用車載ケース。

【請求項 10】 前記係留部材は、前記箱体の内側に設けられた固定リングと、前記帯状部材の他端に設けられて前記固定リングに連結される第 2 の連結部材とを有し、前記固定リングは、互いに対向して複数設けられていることを特徴とする請求項 9 記載のペット用車載ケース。

【請求項 11】 前記帯状部材は、長さが前記底面の対角線の長さより小であることを特徴とする請求項 9 又は請求項 10 記載のペット用車載ケース。

【請求項 12】 前記固定部材は、前記箱体の外側に設けられて前記座席に掛け回される少なくとも 1 つのベルト部材を有することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 11 のうちいずれか 1 記載のペット用車載ケース。

【請求項 13】 前記固定部材は、前記箱体の前記側面上に設けられた一対の環状部材と、前記ベルト部材の両

端に設けられて各々前記環状部材に連結される結合部材とを有し、前記環状部材は、複数の前記側面上に設けられていることを特徴とする請求項 12 記載のペット用車載ケース。

【請求項 14】 前記箱体は、前記座席の幅に応じて取付方向を設定可能であることを特徴とする請求項 13 記載のペット用車載ケース。

【請求項 15】 前記ベルト部材を前記座席の背面側から掛け回すことを特徴とする請求項 12 乃至請求項 14 のうちいずれか 1 記載のペット用車載ケース。

【請求項 16】 前記固定部材は、前記底面及び／又は前記側面上に設けられて前記座席のシートベルトを挿通する開口部を有することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 11 のうちいずれか 1 記載のペット用車載ケース。

【請求項 17】 前記固定部材は、前記箱体に対して固定されて前記座席の座部と背部との隙間に挿入される係止部材を有することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 11 のうちいずれか 1 記載のペット用車載ケース。

【請求項 18】 前記固定部材は、前記箱体に設けられた係合部材と、前記座席側に設けられて前記係合部材に係止する受け側部材とを有することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 11 のうちいずれか 1 記載のペット用車載ケース。

【請求項 19】 前記箱体は、該箱体の内部を覆う天面を有し、前記天面は網目状の孔部を有することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 18 のうちいずれか 1 記載のペット用車載ケース。

【請求項 20】 前記底面の外側面上に滑り止め部材を有することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 19 のうちいずれか 1 記載のペット用車載ケース。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、犬や猫等のペットを収容して車両の座席上に固定可能なペット用車載ケースに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、犬や猫等のペットを自動車などの車両に乗せる場合には、車内に汚損防止用の敷物等を装着してこの敷物上にペットを乗せることや、運転者以外の者がペットを抱えた状態で乗車することが行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、車内に汚損防止用の敷物等を装着することは、手間がかかるものであり、犬や猫等のペットを乗車させる際に、容易に車内の汚損防止を図ることが求められている。

【0004】また、ペットが車内を自由に移動可能な状態であると、車両の運転に重大な危険を及ぼす可能性があり、ペット自体に対しても危険な場合がある。

【0005】本発明は、上記の点に鑑みてなされたもの

であって、自動車等の車両に犬や猫などのペットを乗せても車内の汚損防止を容易に達成可能であり、ペットを所定の位置に係留して、車両の運転やペット自体に対する危険を防止可能なペット用車載ケースを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明のペット用車載ケースは、少なくとも底面及び側面を有し展開、組立可能であってペットを収容する箱体と、前記箱体を車両の座席上に固定する固定部材とを有するものである。

【0007】また、前記箱体は、前記底面及び前記側面同士を互いに固定する着脱部材を有するものである。

【0008】また、前記着脱部材による前記底面及び前記側面同士の固定が解除されることを抑止する固定補助部材を有するものである。

【0009】また、前記ペットを前記箱体内に係留する係留部材を有するものである。

【0010】また、前記箱体は、前記底面及び前記側面にそれぞれ設けられた基材と、前記基材を被覆する被覆部材とを有するものである。

【0011】また、前記箱体は、前記基材と前記被覆部材との間に設けられて衝撃を吸収する弾性材を有するものである。

【0012】また、前記箱体の内側に位置する前記弾性材の肉厚は、外側に位置する前記弾性材の肉厚より大であるものである。

【0013】また、前記固定補助部材は、前記箱体の上部に設けられ、第1の側面上に固定された固定ベルトと、第2の側面上に固定されて前記固定ベルトを挿通するリングとを有し、前記リングに挿通した前記固定ベルトの端部を前記第1の側面に向けて折り返して固定するものである。

【0014】また、前記係留部材は、前記箱体の内側に固定される帯状部材と、前記帯状部材の先端に設けられて前記ペットに対して連結される第1の連結部材とを有するものである。

【0015】また、前記係留部材は、前記箱体の内側に設けられた固定リングと、前記帯状部材の他端に設けられて前記固定リングに連結される第2の連結部材とを有し、前記固定リングは、互いに対向して複数設けられているものである。

【0016】また、前記帯状部材は、長さが前記底面の対角線の長さより小であるものである。

【0017】また、前記固定部材は、前記箱体の外側に設けられて前記座席に掛け回される少なくとも1つのベルト部材を有するものである。

【0018】また、前記固定部材は、前記箱体の前記側面上に設けられた一対の環状部材と、前記ベルト部材の両端に設けられて各々前記環状部材に連結される結合部材とを有し、前記環状部材は、複数の前記側面上に設け

られているものである。

【0019】また、前記箱体は、前記座席の幅に応じて取付方向を設定可能であるものである。

【0020】また、前記ベルト部材を前記座席の背面側から掛け回すものである。

【0021】また、前記固定部材は、前記底面及び／又は前記側面上に設けられて前記座席のシートベルトを挿通する開口部を有するものである。

【0022】また、前記固定部材は、前記箱体に対して固定されて前記座席の座部と背部との隙間に挿入される係止部材を有するものである。

【0023】また、前記固定部材は、前記箱体に設けられた係合部材と、前記座席側に設けられて前記係合部材に係止する受け側部材とを有するものである。

【0024】また、前記箱体は、該箱体の内部を覆う天面を有し、前記天面は網目状の孔部を有するものである。

【0025】また、前記底面の外側面上に滑り止め部材を有するものである。

【0026】

【発明の実施の形態】次に、本発明によるペット用車載ケースの第1の実施の形態について、図1乃至図5を参照して説明する。

【0027】図1は、本発明による第1実施例としてのペット用車載ケースの一部破断した状態を示す斜視図であり、枠線内は部分拡大図、図2(a)は、図1に示すペット用車載ケースを組み立てた状態を示す正面図、図2(b)は、図2(a)におけるA-A断面図、図3

(a)は、図1に示すペット用車載ケースを組み立てた状態を示す側面図、図3(b)は、図3(a)におけるB-B断面図、図4は、図1に示すペット用車載ケースを組み立てた状態を示す背面図、図5は、図1に示すペット用車載ケースを展開した状態を示す平面図である。

【0028】図1乃至図5に示すように、ペット用車載ケース1は、上面が開口した箱状に形成されて犬や猫等のペットを収容する箱体2と、箱体2を自動車等の車両の座席50(図7参照)上に固定する固定部材3(図3(a)及び図4参照)と、箱体2内に設けられて前記ペットを箱体2内に係留する係留部材7とを有する。以下、まず箱体2の詳細について、箱体2を展開した状態に基づいて説明する。

【0029】図5に示すように、箱体2は、底面2a及び側面2b乃至側面2eにそれぞれ設けられた基材22aと、基材22aを被覆する被覆部材22bと、基材22aと被覆部材22bとの間に設けられた弾性材22c(図1及び図2(b)参照)と、被覆部材22bの周縁に設けられて底面2a及び側面2b乃至側面2e同士を互いに固定する着脱部材12とを有する。したがって、箱体2は、基材22aを被覆部材22bで被覆することによって、底面2a及び側面2b乃至側面2eが境界部

で折り曲げ可能に形成され、展開及び組立が自在に可能である。

【0030】また、箱体2は、全体が被覆部材22bで被覆され、長方形の底面2aと、底面2aの短手方向に隣接する側面2d（前面）と、側面2dに対向し、かつ底面2aの短手方向に隣接する側面2e（後面）と、側面2eに隣接し、かつ互いに対向する一対の側面2b（右側面）及び側面2c（左側面）とからなり、底面2a及び側面2d乃至側面2eのそれぞれの隣接境界部が縫製されている。また、弾性材22cは、ポリウレタン樹脂等からなり、基材22aと被覆部材22bとの間に介装され、外部からの衝撃を吸収可能である。本実施の形態では、弾性材22cは、基材22を挟んで両面に介装されており、箱体2の内部側に位置する弾性材22cの肉厚dは、外部側に位置する弾性材22cの肉厚eより大きく設定されている。箱体2の内部側に位置する弾性材22cの肉厚dを大きく設定し、かつ箱体2の外部側にも弾性材22cを設けることにより、衝撃の吸収効果の向上が可能であり、ペット用車載ケース1全体の質感を向上して美的にも優れた外観を得ることができる。

【0031】箱体2の側面2d（前面）及び側面2e（後面）は、互いに等しい長方形に形成され、側面2b（右側面）及び側面2c（左側面）は、側面2e（側面2d）の短辺の長さ及び底面2aの短辺の長さに設定された長方形に形成されている。したがって、箱体2は、組み立てた状態において、直方体の箱状に形成される。また、箱体2の幅W、すなわち底面2aの長辺の長さ（図1及び図5参照）は、ペット用車載ケースを取り付ける座席50（図7参照）上に取付可能な大きさに設定されている。本実施の形態では、幅Wが座席50の座部50a及び背部50bの幅に略等しく設定され、例えば柴犬、ウエルシュ・コーギー等の中型の犬種に好適な大きさに設定されている。

【0032】また、着脱部材12は、本実施の形態ではファスナからなり、側面2b（右側面）及び側面2c（左側面）の周縁部と、これに対応する底面2a及び側面2d（前面）の両側部に各々組ずつ設けられ、底面2a及び側面2b乃至側面2e同士を自在に着脱可能である。したがって、着脱部材（ファスナ）12を矢印P方向（図1及び図6参照）に引き上げれば、底面2a及び側面2b乃至側面2e同士を互いに固定して箱体2を容易に組み立て可能である。

【0033】基材22aは、箱体2全体の剛性を向上して、組み立てた状態の箱体2の形状を保持するものであり、底面2a及び側面2b乃至2eに対応した形状に形成され、各々の面は、被覆部材22bにより基材22aを包み込んで縫製されている。なお、基材22aは、所定の剛性を有するものであれば、合成樹脂、紙材、木材及び金属等の種々の素材を適宜選択可能であるが、合成樹脂は軽量で強度が大きく、しかもペットが箱体2を嚙

んだ場合でも悪影響を与える恐れがないことがないことから、基材22aの素材として好適である。

【0034】被覆部材22bは、基材22aを被覆して底面2a及び側面2b乃至側面2eを境界部で折り曲げ可能に形成し、箱体2を組立及び展開自在に構成するものであり、織布、不織布、紙材、合成樹脂、合成繊維等の素材を適宜選択して使用することができる。本実施の形態では、被覆部材22bが綿製の織布から形成され通気性が確保されており、美的にも優れた外観を有する。

【0035】また、図1乃至図3に示すように、箱体2は、上部に着脱部材12による底面2a及び側面2b乃至側面2e同士の固定が解除されることを抑止する固定補助部材5を有する。固定補助部材5は、箱体2の側面2d（前面）の両側部に位置する着脱部材12としてのファスナに各々跨設され、側面2b（右側面）及び側面2c（左側面）上に各々固定された固定ベルト5aと、側面2d（前面）の両側部に各々固定されたD字状のリング5bとを有し、固定ベルト5aの先端部をリング5bに挿通し、この先端部を側面2b（右側面）及び側面2c（左側面）に向けて折り返して、各々側面2b及び側面2c上に固定可能である。固定ベルト5aを折り返して固定することにより、側面2d（前面）と側面2b（右側面）及び側面2d（前面）と側面2c（左側面）とを堅固に固定可能であり、箱体2内のペットによって、着脱部材12としてのファスナによる固定が解除される方向（図1及び図6に示す矢印Q方向）に力が加えられた場合でも、底面2a及び側面2b乃至側面2e同士の固定を保持することができる。なお、固定ベルト5aの先端部を側面2b及び側面2c上に固定する方法は適宜設定可能であり、例えば、固定ベルト5aの基端部近傍及び先端部に、いわゆるマジックテープ（商標名）を設ければよい。また、側面2b（右側面）及び側面2c（左側面）を第1の側面、側面2d（前面）を第2の側面とも称する。

【0036】係留部材7は、犬や猫等のペットを箱体2内に係留する部材であり、箱体2の内側に設けられたD字状の固定リング7dと、固定リング7dを介して箱体2の内側に固定される带状部材7aと、带状部材7aの先端部に設けられてペットに対して連結される連結部材（第1の連結部材）7bと、带状部材7aの他端に設けられて固定リング7dに連結される連結部材（第2の連結部材）7cとを有する。連結部材7b及び7cは、いわゆるナスカンと称される開閉自在な環状の部材からなり、例えばペットの首輪等に設けられたリング部材（図示せず）及び固定リング7dに対して着脱自在である。また、固定リング7dは、互いに対向する位置に複数設けられており、本実施の形態では、底面2aの互いに対向する短辺上に各々2つずつ離間して固定されている。

【0037】また、带状部材7aは、所定の範囲で長さを調整可能であり、带状部材7aの長さを底面2aの対

10

20

30

40

50

角線の長さより小さく設定するとともに、ペットを側面 2 b (右側面) 又は側面 2 c (左側面) を頭部にして收容し、2 本の帯状部材 7 a によりペットを背後側から係留すれば、ペットが箱体 2 の外部に飛び出すことがなく、好適である。すなわち、固定リング 7 d を互いに対向する位置に複数有することから、ペットを收容する方向は、適宜選択が可能であり、ペットの嗜好に応じて設定することができる。なお、使用する帯状部材 7 a の固定リング 7 d に対する取付位置は、適宜変更可能であり、例えば、2 本の帯状部材 7 a を底面 2 a の対角線に沿って互いに対向して設ければ、ペットを係留部材 7 によって互いに対向する二方向から均一に係留することができ、ペットが箱体 2 の外部に飛び出すことがない。また、使用する帯状部材 7 a の数は、適宜増減が可能である。

【0038】図 3 (a) 及び図 4 に示すように、固定部材 3 は、箱体 2 の外側、この場合側面 2 e (後面) の外面側上部に互いに離間して設けられた一対の環状部材 (第 1 の環状部材) 4 a と、側面 2 e (後面) の外面側下部に互いに離間して設けられた一対の環状部材 (第 2 の環状部材) 4 b と、第 1 の環状部材 4 a 同士の間で連結されて座席 50 の頭部 50 c (図 7 参照) に掛け回される第 1 のベルト部材 3 a と、第 2 の環状部材 4 b 同士の間で連結されて座席 50 の背部 50 b (図 7 参照) に掛け回される第 2 のベルト部材 3 b とを有する。第 1 のベルト部材 3 a 及び第 2 のベルト部材 3 b は、各々両端に結合部材 14 a を有し、この結合部材 14 a を介して、それぞれ第 1 の環状部材 4 a 及び第 2 の環状部材 4 b に連結されている。結合部材 14 a は、いわゆるナスカンと称される開閉自在な環状の部材からなり、第 1 のベルト部材 3 a 及び第 2 のベルト部材 3 b は、第 1 の環状部材 4 a 及び第 2 の環状部材 4 b に対して着脱自在である。また、第 1 のベルト部材 3 a 及び第 2 のベルト部材 3 b は、所定の範囲で長さを調整可能であり、第 1 のベルト部材 3 a 及び第 2 のベルト部材 3 b を座席 50 (図 7 参照) に掛け回して緊張させれば、箱体 2 を座席 50 に対して密着固定することができる。

【0039】なお、本実施の形態では、固定部材 3 にベルト部材を複数 (第 1 のベルト部材 3 a 及び第 2 のベルト部材 3 b) 設けているが、ベルト部材は少なくとも 1 つ設ければよく、適宜増減が可能である。また、第 1 のベルト部材 3 a 及び第 2 のベルト部材 3 b を掛け回する座席 50 (図 7 参照) の部位についても、適宜変更可能である。

【0040】次に、上記の構成からなるペット用車載ケース 1 の使用形態について、図 6 (a) 乃至図 7 (b) を参照して説明する。図 6 (a) 及び (b) は、図 1 に示すペット用車載ケースを組み立てる工程を示す斜視図、図 7 (a) は、図 1 に示すペット用車載ケースを座席上に固定した状態を示す斜視図、図 7 (b) は、図 1

に示すペット用車載ケースを座席上に固定した状態を示す側面図である。

【0041】まず、箱体 2 を組み立てる工程について説明する。図 6 (a) 及び (b) に示すように、着脱部材 (ファスナ) 12 を矢印 P 方向に引き上げれば、底面 2 a と側面 2 b (右側面)、側面 2 b (右側面) と側面 2 d (前面) 並びに、底面 2 a と側面 2 c (左側面)、側面 2 c (左側面) と側面 2 d (前面) とを互いに固定して箱体 2 を展開した状態から容易に組み立て可能である。そして、固定補助部材 5 の固定ベルト 5 a の先端部をリング 5 b に挿通し、第 1 の側面としての側面 2 b (右側面) 及び側面 2 c (左側面) 側に各々折り返して固定することにより、箱体 2 の組立が完成する。また、組み立てた状態の箱体 2 を展開する場合には、固定ベルト 5 a の固定を解除し、着脱部材 (ファスナ) 12 を矢印 Q 方向 (矢印 P と逆方向) に移動すれば、底面 2 a 及び側面 2 b 乃至側面 2 e 同士の固定を解除して容易に展開可能であり、ペット用車載ケース 1 は、持ち運びや収納時の利便性が高い。なお、箱体 2 を完全に組み立てず、一部の面を開放した状態で使用することも可能であり、例えば、側面 2 d (前面) のみを開放すれば、ペットを箱体 2 内に收容する場合や、降車させる場合の利便性を向上することができる。

【0042】次に、ペット用車載ケース 1 を自動車等の車両の座席上に固定する工程について説明する。図 7 (a) 及び (b) に示すように、座席 50 上に組み立てた状態の箱体 2 を側面 2 e (後面) が背部 50 b と当接するように載置する。そして、固定部材 3 の第 1 のベルト部材 3 a を座席 50 の頭部 50 c に掛け回し、第 2 のベルト部材 3 b を背部 50 b の下部に掛け回して、各々の長さを調整して緊張させれば、箱体 2 を座席 50 に対して密着させた状態で固定することができる。

【0043】そして、犬や猫等のペットを側面 2 b (右側面) 又は側面 2 c (左側面) 側を頭部にして箱体 2 内に收容し、連結部材 (第 1 の連結部材) 7 b をペットの首輪に設けられたリング部材 (図示せず) に連結してペットを 2 本の係留部材 7 により係留する。このとき、帯状部材 7 a の長さを底面 2 a の対角線の長さより小さく設定し、連結部材 7 c (第 2 の連結部材) をペットの背後側に位置する固定リング 7 d に連結すれば、ペットは 2 本の係留部材 7 により背後側から係留される状態になり、ペットの箱体 2 の外部への飛び出しを防止することができる。また、固定リング 7 d は、互いに対向する位置に複数設けられていることから、ペットを收容する方向は、頭部が側面 2 b (右側面) に位置する方向又は側面 2 c (左側面) 側に位置する方向から適宜選択することができ、ペットの嗜好に応じて設定が可能である。

【0044】また、ペット用車載ケース 1 は、着脱部材 (ファスナ) 12 に跨設され、側面 2 b (右側面) 及び側面 2 c (左側面) と、側面 2 d (前面) とを固定する

固定補助部材 5 を有することから、箱体 2 内のペットによって、着脱部材（ファスナ）12 による固定が解除される方向（図 1 及び図 6 に示す矢印 Q 方向）に力が加えられても、底面 2a 及び側面 2b 乃至側面 2e 同士の固定を保持することができる。

【0045】次に、本発明によるペット用車載ケースの第 2 の実施の形態乃至第 4 の実施の形態について、図 8 乃至図 10 を参照して説明する。図 8 は、本発明による第 2 の実施の形態としてのペット用車載ケースを示す底面図、図 9 は、図 8 に示すペット用車載ケースの使用形態を示す斜視図、図 10 (a) は、本発明による第 3 の実施の形態としてのペット用車載ケースを示す斜視図、図 10 (b) は、本発明による第 4 の実施の形態としてのペット用車載ケースを示す斜視図である。なお、本発明による第 2 の実施の形態乃至第 4 の実施の形態は、本発明の第 1 の実施の形態と固定部材 3 の構成のみが異なるものであり、他の構成については同一であることから、以下の説明においては、相違点を中心に説明する。また、図 8 乃至図 10 において、第 1 の実施の形態と同一の構成及び機能を有する部分には、同一の符号を付している。

【0046】図 8 及び図 9 に示すように、本発明による第 2 の実施の形態としてのペット用車載ケース 1 は、車両の座席 50（図 7 参照）が有するシートベルト 51 を使用して座席 50 上に固定するものである。固定部材 13 は、箱体 2 の底面 2a 上に設けられ、シートベルト 51 を挿通する開口部 13a を有する。

【0047】開口部 13a は、被覆部材 22b と同一の素材からなり、側面 2d（前面）側から側面 2e（後面）に向けて拡幅する台形状に形成されている。また、開口部 13a は、側面 2d（前面）側及び側面 2e（後面）の両端部が縫製され底面 2a に対して固定され、両端部間が開口した構成になっている。したがって、図 9 に示すように、シートベルト 51 を開口部 13a に挿通して固定すれば、座席 50（図 7 参照）上にペット用車載ケース 1 を密着固定することが可能であり、しかも座席 50 が有するシートベルト 51 を利用可能であることから、ペット用車載ケース 1 全体の低コスト化を達成することができる。

【0048】なお、シートベルト 51 が、ELR（緊急ロック式ベルト巻き取り装置）付 3 点式シートベルトである場合には、図 9 に示す結束金具 52 を使用して、シートベルト 51 の肩側ベルト 51a と腰側ベルト 51b とを結束して固定すれば、シートベルト 51 の固定金具 51c と結束金具 52 との間の長さが一定になり、箱体 2 を座席 50 上に堅固に固定することができる。また、開口部 13a を設ける位置及び数は、適宜設定可能であり、側面 2b 乃至側面 2e 上に設けてもよい。

【0049】また、図 10 (a) に示すように、本発明による第 3 の実施の形態としてのペット用車載ケース 1

が備える固定部材 23 は、側面 2e（後面）側の下端部に固定された帯部材 23b と、帯部材 23b の先端部に固定された係止部材 23a とを有する。係止部材 23a は、合成樹脂等からなり、円筒状（又は円柱状）に形成されている。そして、係止部材 23a を座席 50 の座部 50a と背部 50b との間の隙間に挿入し、係止部材 23a を 90 度回転させて円筒軸が直立する状態にすれば、ペット用車載ケース 1 を座席 50 上に固定することが可能であり、座席 50 に対するペット用車載ケース 1 の固定をより容易に行うことができる。

【0050】また、図 10 (b) に示すように、本発明による第 4 の実施の形態としてのペット用車載ケース 1 が備える固定部材 33 は、側面 2e（後面）側の下端部に固定された一对の係合部材 33a と、係合部材 33a に対応して車両の座席 50 側に固定された受け側部材 33b とを有する。係合部材 33a は、金属又は合成樹脂等からなり、箱体 2 から突出する状態に設けられている。また、受け側部材 33b は、座席 50 の座部 50a と背部 50b との間の隙間内に設けられており、係合部材 33a を固定する係止機構を有する。したがって、係合部材 33a を受け側部材 33b に嵌合させれば、ペット用車載ケース 1 を座席 50 上に固定することが可能であり、座席 50 に対するペット用車載ケース 1 の固定をより容易に、しかも確実にを行うことができる。

【0051】次に、本発明によるペット用車載ケースの第 5 の実施の形態及び第 6 の実施の形態について、図 11 及び図 12 を参照して説明する。図 11 は、本発明による第 5 の実施の形態としてのペット用車載ケースを示す斜視図、図 12 は、本発明による第 6 の実施の形態としてのペット用車載ケースを示す一部破断した状態の斜視図である。なお、本発明による第 5 の実施の形態及び第 6 の実施の形態は、本発明の第 1 の実施の形態と基本構成が同一であることから、以下の説明では相違点を中心に説明する。また、図 11 及び図 12 において、第 1 の実施の形態と同一の構成及び機能を有する部分に同一の符号を付している。

【0052】図 11 に示すように、本発明による第 5 の実施の形態としてのペット用車載ケース 1 は、箱体 2 に内部を覆う天面 43 と、天面 43 を箱体 2 の上端に固定する閉止部材 45 とを設けたものである。天面 43 は、箱体 2 の上面の開口より僅かに大きく形成され、全面に網目状の孔部 43a を有する。また、閉止部材 45 は、いわゆるマジックテープ（商標名）等からなり、天面 43 の前端部に設けられた舌片部 45a と、側面 2d（前面）の上端部に舌片部 45a に対応して設けられ舌片部 45a を固定する固定部 45b とを有する。したがって、天面 43 を閉止部材 45 により箱体 2 の上端に係合した状態で固定すれば、箱体 2 の開口全体を覆うことが可能であり、箱体 2 に収容したペットが外部に飛び出すことをより確実に防止可能である。また、天面 43 は、

10

20

30

40

50

網目状の孔部 43a を有することから、箱体 2 内の照度や、通気性を確保可能であり、ペットに対する居住性を向上することができる。

【0053】また、図 12 に示すように、本発明による第 6 の実施の形態としてのペット用車載ケース 1 は、複数（この場合 4 つ）の係留部材 7 を十字状に設けたものである。係留部材 7 は、各々箱体 2 の内側に固定された带状部材 7a と、带状部材 7a の先端部に設けられてペットに対して連結される連結部材 7b とを有し、それぞれ側面 2b 乃至側面 2e の中央部であって底面 2a との境界部において箱体 2 に対して固定されている。係留部材 7 を設ける数や位置は、任意に設定可能であるが、複数の係留部材 7 を十字状に設けることによって、ペットを四方向から均等に係留して、箱体 2 の外部にペットが飛び出すことを確実に防止することができる。

【0054】次に、本発明によるペット用車載ケースの第 7 の実施の形態及び第 8 の実施の形態について、図 13 乃至図 15 を参照して説明する。図 13 (a) は、本発明による第 7 の実施の形態としてのペット用車載ケースを示す正面図、図 13 (b) は、(a) に示すペット用車載ケースの側面図、図 13 (c) は、(a) に示すペット用車載ケースの背面図、図 14 (a) は、図 13 に示すペット用車載ケースを座席上に固定した状態を示す斜視図、図 14 (b) は、図 13 に示すペット用車載ケースを座席上に固定した状態を示す側面図、図 15 (a) は、本発明による第 8 の実施の形態としてのペット用車載ケースを座席上に固定した状態を示す斜視図、図 15 (b) は、本発明による第 8 の実施の形態としてのペット用車載ケースを座席上に固定した状態を示す側面図である。なお、本発明による第 7 の実施の形態及び第 8 の実施の形態は、本発明の第 1 の実施の形態と基本構成が同一であることから、以下の説明では相違点を中心に説明する。また、図 13 乃至図 15 において、第 1 の実施の形態と同一の構成及び機能を有する部分に同一の符号を付している。

【0055】図 13 及び図 14 に示すように、本発明による第 7 の実施の形態としてのペット用車載ケース 1 は、箱体 2 の幅 W、すなわち底面 2a の長辺の長さがゴールデンレトリバーやダルメシアン等の大型の犬種に好適な大きさに設定されている。このように、箱体 2 を大型に形成すると、箱体 2 の幅 W が座席 50 の座部 50a 及び背部 50b の幅より大きくなる場合があるが、本発明による第 7 の実施の形態としてのペット用車載ケース 1 は、箱体 2 の複数の側面上に環状部材 4a 及び環状部材 4b を有し、座席 50 の幅に応じて箱体 2 の取付方向を適宜設定可能なものである。

【0056】図 13 (b) 及び (c) に示すように、ペット用車載ケース 1 は、箱体 2 の側面 2e (後面) 及び側面 2b (右側面) の外面側上部に、それぞれ互いに離間して設けられた一対の環状部材 (第 1 の環状部材) 4

a を有し、これに対応して、側面 2e (後面) 及び側面 2b (右側面) の外面側下部に互いに離間して設けられた一対の環状部材 (第 2 の環状部材) 4b を有する。したがって、図 14 (a) 及び (b) に示すように、本発明による第 7 の実施の形態としてのペット用車載ケース 1 は、側面 2b (右側面) が背部 50b と当接する状態で座席 50 に対して固定可能であり、箱体 2 の奥行き D、すなわち底面 2a の短辺の長さを座席 50 上に取付可能な大きさに設定すれば、大型の箱体 2 を座席 50 上に堅固に固定することができる。

【0057】なお、本発明による第 7 の実施の形態としてのペット用車載ケース 1 は、側面 2e (後面) と側面 2b (右側面) との境界部に設けられた環状部材 (第 2 の環状部材) 4b については、側面 2e 及び側面 2b の両面に兼用されており、低コスト化が達成されている。また、環状部材 4a 及び 4b を設ける部位は、適宜設定可能であり、側面 2b 乃至側面 2e のうち 2 以上の複数の側面に設ければ、箱体 2 の取付方向を座席 50 の幅に応じて適宜選択可能であり、利便性を向上することができる。

【0058】また、図 15 (a) 及び (b) に示すように、本発明による第 8 の実施の形態としてのペット用車載ケース 1 は、箱体 2 の幅 W、すなわち底面 2a の長辺の長さが図 13 及び図 14 に示す本発明の第 7 の実施の形態よりさらに大きく設定され、車両の後部座席 60 上に固定する場合に好適なものである。

【0059】すなわち、本発明による第 8 の実施の形態としてのペット用車載ケース 1 の固定部材 53 は、底面 2a の外面上であって側面 2c (左側面) との境界部近傍に両端が固定された長尺の第 1 のベルト部材 53a と、側面 2c の外面側下部に連結された第 2 のベルト部材 53b とを有する。したがって、箱体 2 の側面 2b (右側面) を後部座席 60 の背部 60b と当接する状態に載置し、側面 2c (左側面) 側に位置する座席 50 の頭部 50c に対して背面側から第 1 のベルト部材 53a を掛け回すとともに、座席 50 の背部 50b に対して背面側から第 2 のベルト部材 53b を掛け回して第 1 のベルト部材 53a 及び第 2 のベルト部材 53b を緊張させれば、箱体 2 を座席 60 上に固定することができる。このとき、箱体 2 を後部座席 60 に対して前方に位置する座席 50 の背面側に当接させれば、箱体 2 は、前側の座席 50 と後部座席 60 との間に挟持された状態で堅固に固定される。

【0060】なお、上記に限らず本発明によるペット用車載ケース 1 の構成は、適宜変更可能であり、例えば、第 1 の実施の形態乃至第 8 の実施の形態を適宜組み合わせた構成であってもよい。また、本発明による第 1 の実施の形態乃至第 8 の実施の形態としてのペット用車載ケース 1 において、底面 2a の外側面上に合成樹脂、合成ゴム等からなる滑り止め部材を設ければ、ペット用車載

ケース 1 の座席 50 又は後部座席 60 (図 7、図 10、図 14 及び図 15 参照) に対する固定効果の向上が可能であり、好適である。

【0061】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のペット用車載ケースによれば、自動車等の車両に犬や猫などのペットを乗せても車内の汚損防止を容易に達成可能であり、ペットを所定の位置に係留して、車両の運転やペット自体に対する危険を防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明による第 1 実施例としてのペット用車載ケースの一部破断した状態を示す斜視図であり、枠線内は部分拡大図である。

【図 2】(a) は、図 1 に示すペット用車載ケースを組み立てた状態を示す正面図、(b) は、(a) における A-A 断面図である。

【図 3】(a) は、図 1 に示すペット用車載ケースを組み立てた状態を示す側面図、(b) は、(a) における B-B 断面図である。

【図 4】図 1 に示すペット用車載ケースを組み立てた状態を示す背面図である。

【図 5】図 1 に示すペット用車載ケースを展開した状態を示す平面図である。

【図 6】(a) 及び (b) は、図 1 に示すペット用車載ケースを組み立てる工程を示す斜視図である。

【図 7】(a) は、図 1 に示すペット用車載ケースを座席上に固定した状態を示す斜視図、(b) は、図 1 に示すペット用車載ケースを座席上に固定した状態を示す側面図である。

【図 8】本発明による第 2 の実施の形態としてのペット用車載ケースを示す底面図である。

【図 9】図 8 に示すペット用車載ケースの使用形態を示す斜視図である。

【図 10】(a) は、本発明による第 3 の実施の形態としてのペット用車載ケースを示す斜視図、(b) は、本発明による第 4 の実施の形態としてのペット用車載ケースを示す斜視図である。

【図 11】本発明による第 5 の実施の形態としてのペット用車載ケースを示す斜視図である。

【図 12】本発明による第 6 の実施の形態としてのペット用車載ケースを示す一部破断した状態の斜視図である。

【図 13】(a) は、本発明による第 7 の実施の形態としてのペット用車載ケースを示す正面図、(b) は、(a) に示すペット用車載ケースの側面図、(c) は、(a) に示すペット用車載ケースの背面図である。

【図 14】(a) は、図 13 に示すペット用車載ケースを座席上に固定した状態を示す斜視図、(b) は、図 13 に示すペット用車載ケースを座席上に固定した状態を示す側面図である。

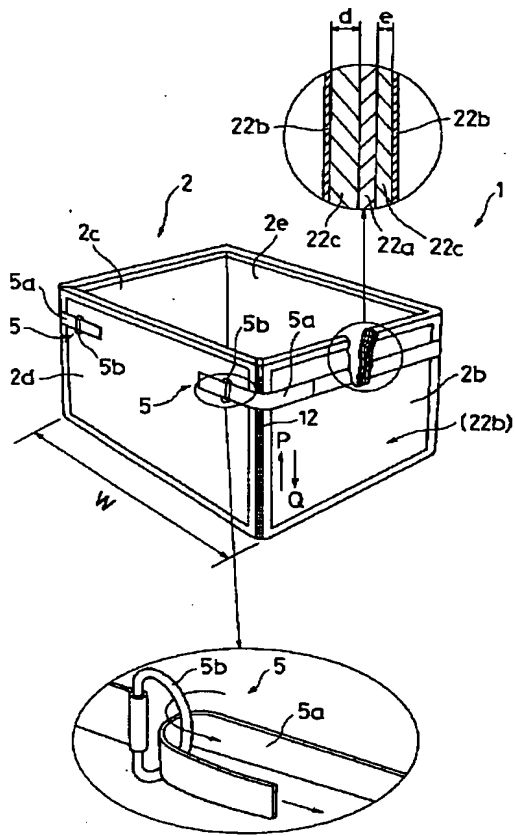
【図 15】(a) は、本発明による第 8 の実施の形態としてのペット用車載ケースを座席上に固定した状態を示す斜視図、(b) は、本発明による第 8 の実施の形態としてのペット用車載ケースを座席上に固定した状態を示す側面図である。

【符号の説明】

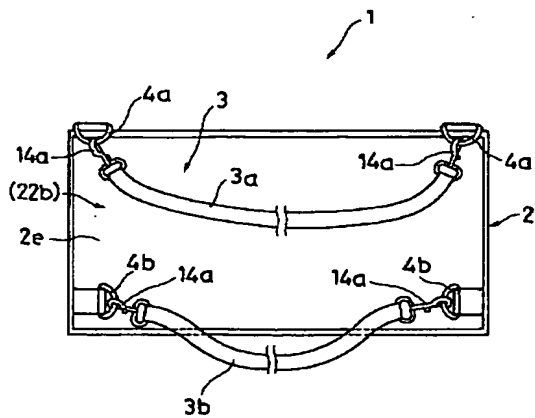
1	ペット用車載ケース
2	箱体
2 a	底面
2 b	側面 (右側面、第 1 の側面)
2 c	側面 (左側面、第 1 の側面)
2 d	側面 (前面、第 2 の側面)
2 e	側面 (後面)
3	固定部材
3 a	第 1 のベルト部材 (固定部材)
3 b	第 2 のベルト部材 (固定部材)
4 a	第 1 の環状部材 (固定部材)
4 b	第 2 の環状部材 (固定部材)
5	固定補助部材
5 a	固定ベルト
5 b	リング
7	係留部材
7 a	帯状部材
7 b	連結部材 (第 1 の連結部材)
7 c	連結部材 (第 2 の連結部材)
7 d	固定リング
12	着脱部材 (ファスナ)
13	固定部材 (第 2 の実施の形態)
13 a	開口部
14 a	結合部材 (固定部材)
22 a	基材
22 b	被覆部材
22 c	弾性材
23	固定部材 (第 3 の実施の形態)
23 a	係止部材
23 b	帯部材
33	固定部材 (第 4 の実施の形態)
33 a	係合部材
33 b	受け側部材
43	天面 (第 5 の実施の形態)
43 a	孔部
45	閉止部材 (第 5 の実施の形態)
45 a	舌片部
45 b	固定部
50	座席
50 a	座部
50 b	背部
50 c	頭部
51	シートベルト
51 a	肩側ベルト

51b	腰側ベルト
51c	固定金具
52	結束金具
53	固定部材 (第8の実施の形態)
53a	第1のベルト部材

【図1】



【図4】

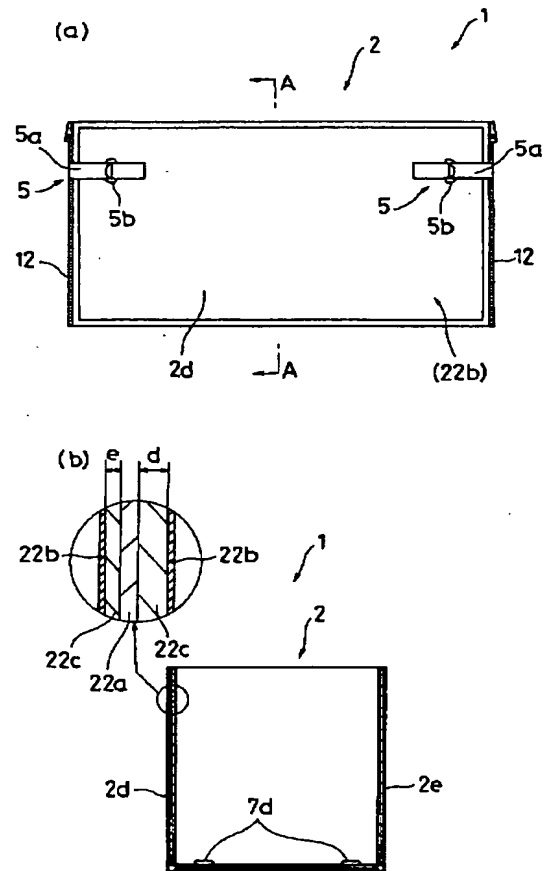


(9)

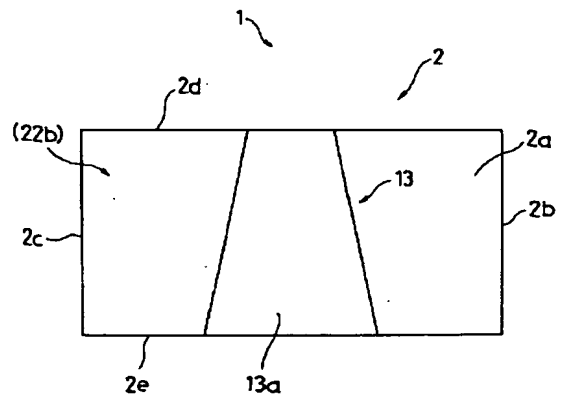
特開2002-159239

53b	第2のベルト部材
60	後部座席
60a	座部
60b	背部
60c	頭部

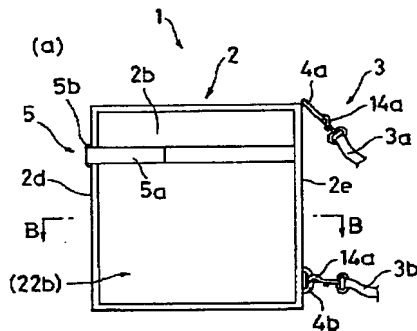
【図2】



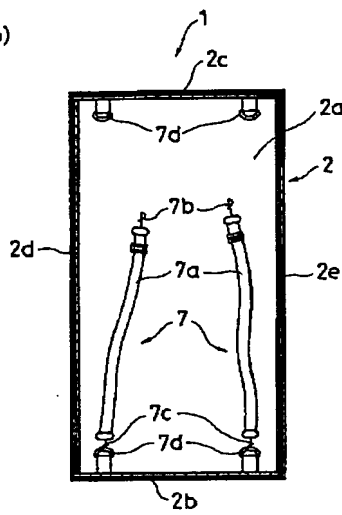
【図8】



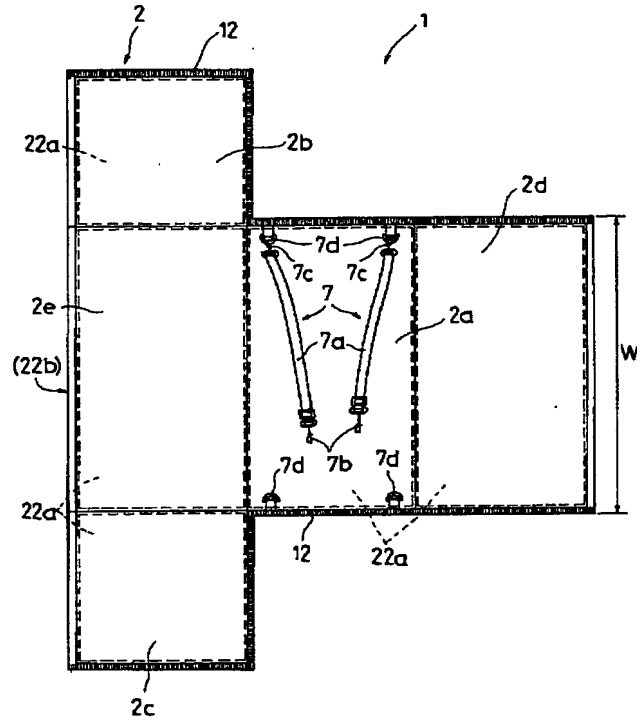
【図 3】



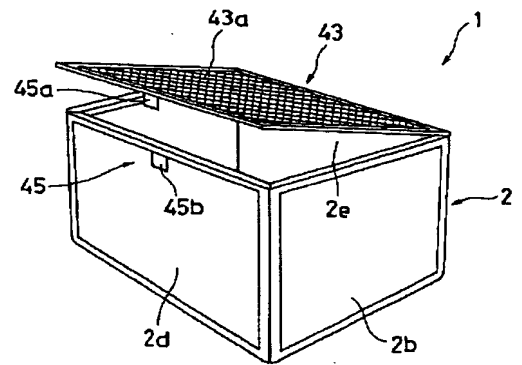
(b)



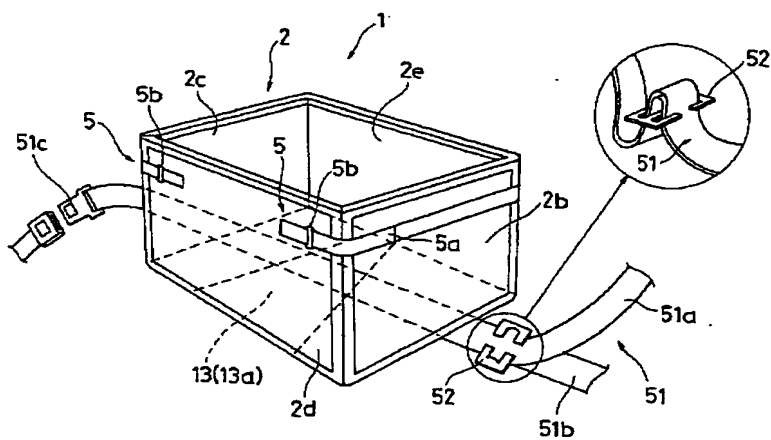
【図 5】



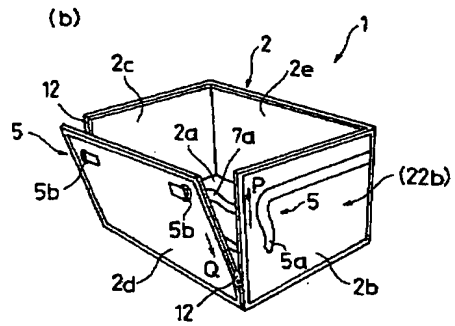
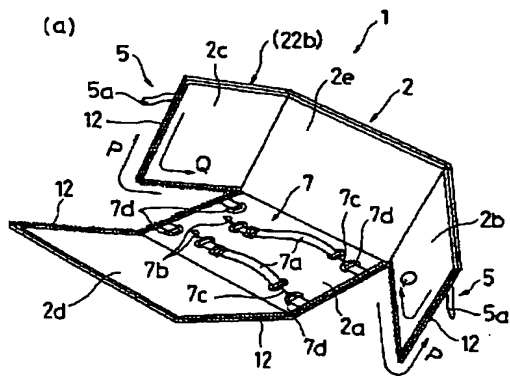
【図 11】



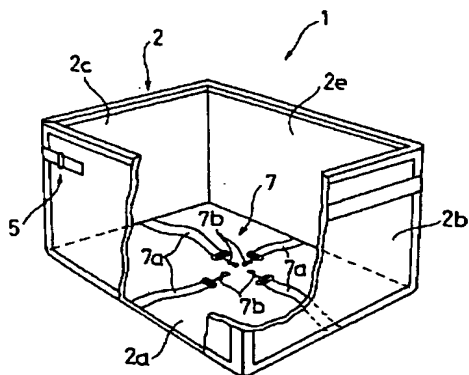
【図 9】



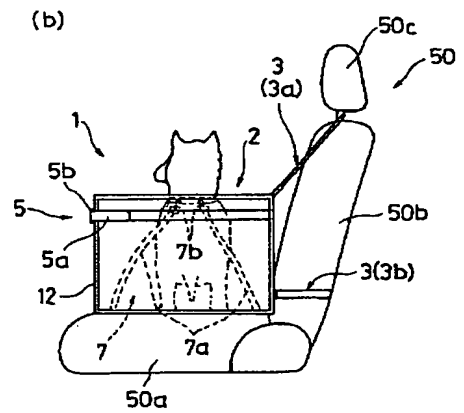
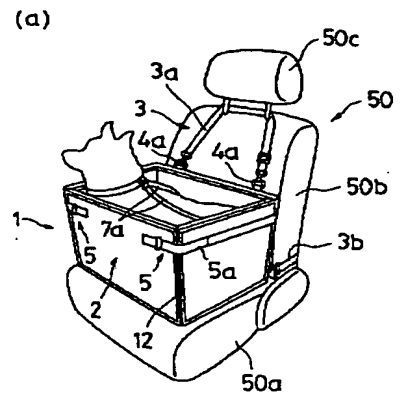
【図 6】



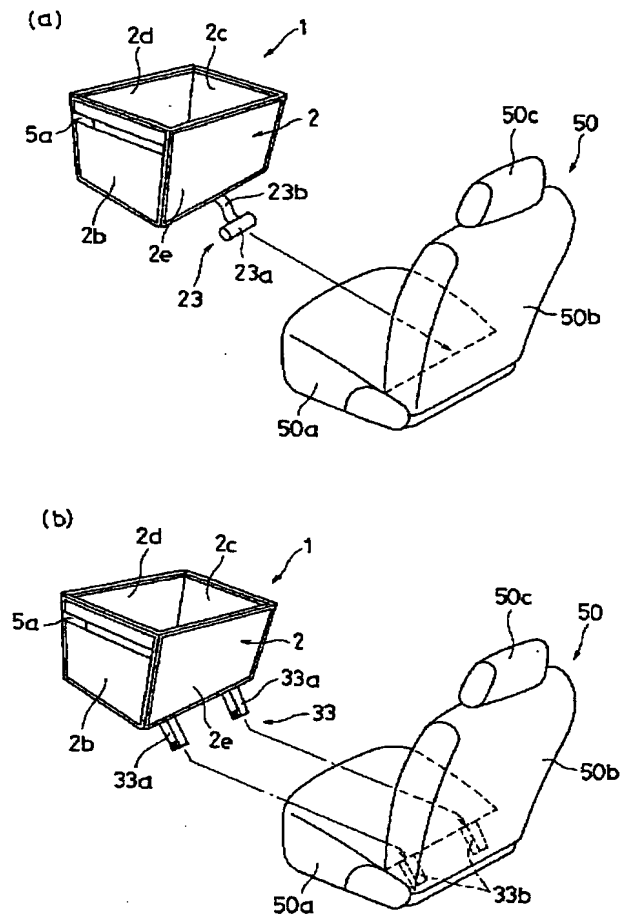
【図 12】



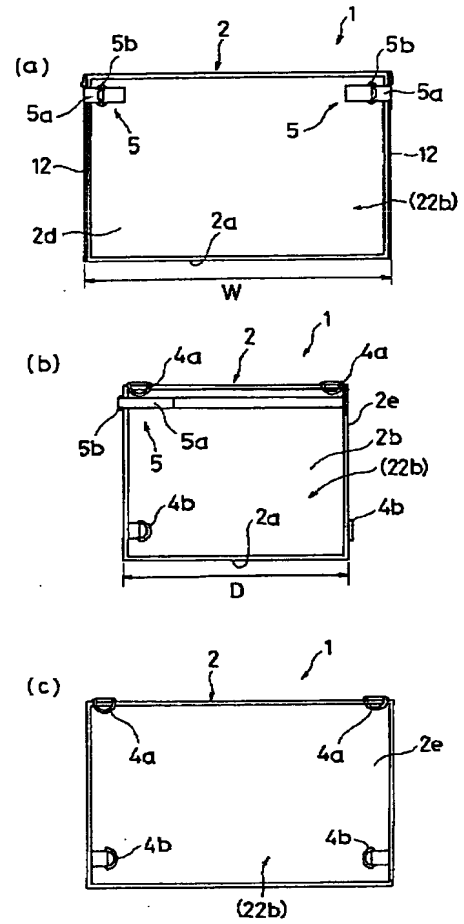
【図 7】



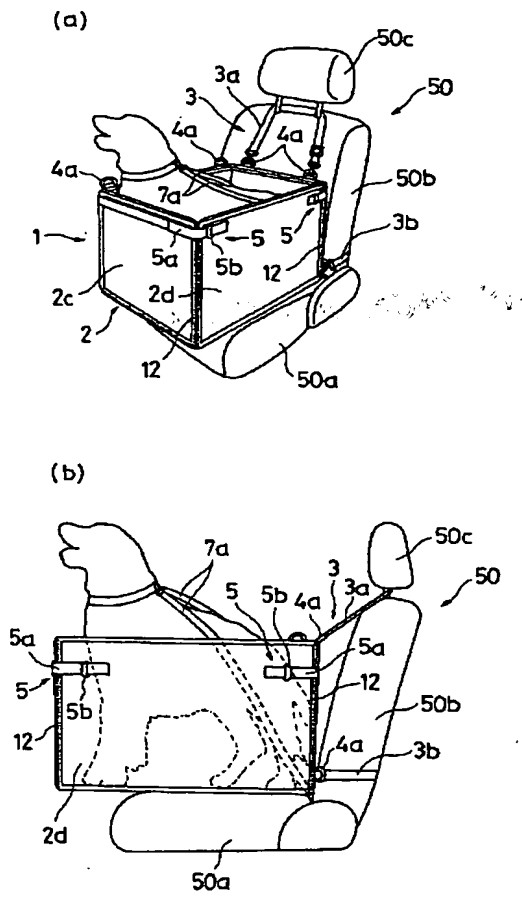
【図 10】



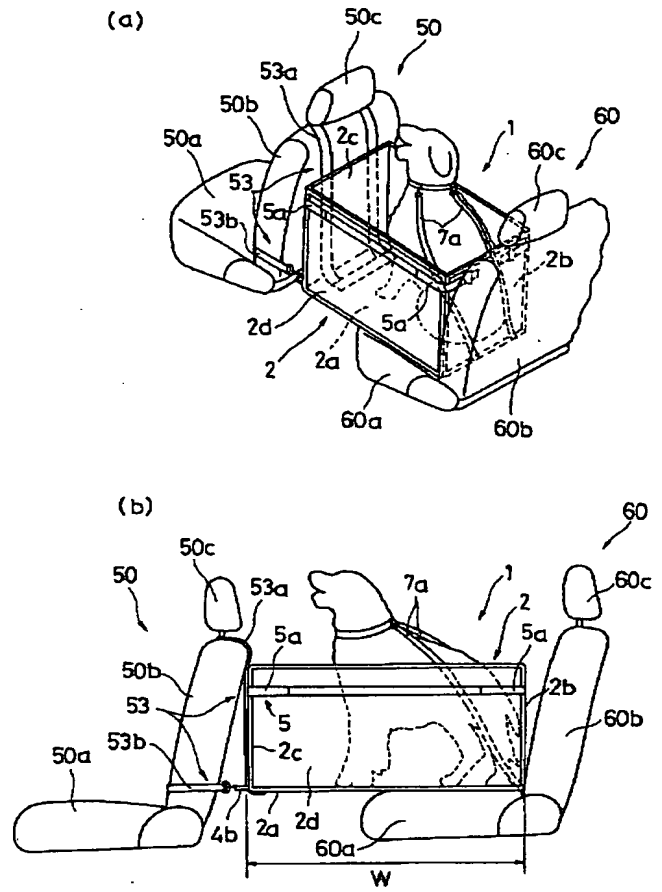
【図 13】



【図 14】



【図 15】



THIS PAGE BLANK (USPTO)